

2020年度活動報告書



A big big thank you!

情報支援レスキュー隊(IT DART)は、2011年の東日本大震災で情報支援・IT支援を行った有志のメンバーが中心になって、2015年に設立されました。平成27年(2015年)9月関東・東北豪雨での活動を皮切りに、水害、地震、台風等の自然災害での支援活動を行って参りました。

IT DARTの活動は、活動にご参加いただく皆様、活動に関心を持ってくださりご支援をいただく皆様、連携して支援活動にご協力くださる皆様に支えられております。ここに、厚く御礼を申し上げます。

このたび、2020年度のIT DARTの活動報告をまとめました。微力ではありますが、これまで皆様から賜りましたご支援を被災地の復興に役立てられるよう取り組んで参りました。新型コロナウイルスなど、社会全体が厳しい状況ではありますが、これからも引き続き、災害時の支援活動に取り組んで参ります。引き続きのご支援をよろしくお願いいたします。

2021年8月

一般社団法人 情報支援レスキュー隊(IT DART) 代表理事 宮川祥子

1. 活動ハイライト

被災地等への支援

2020年度被災地等への支援状況は以下のようになっております。

令和元年台風第19号 (2019年度より継続)

○ パソコン、携帯電話、モバイルルーターの提供

令和2年7月豪雨

- LINEを使用した先遣隊システムの提供
- パソコン、プリンタ、モバイルルーターの提供
- FacebookやTwitter での情報発信を実施

令和2年7月豪雨にて活動したプロジェクト



PCセットアップの様子

プロジェクト名	説明		
災害ボランティアセンター 募集状況一覧	ポランティア活動の行き先を検討中の方向けに、ポランティア 募集状況を、Twitter (<u>@it dart</u>)や <u>IT DART のFacebookページ</u> の投稿などでお知らせしました。		
見える化システムの運営	NPO等の民間支援団体の活動の連携・調整のために使用する、支援団体の活動状況を地図上で俯瞰する見える化システムを運営しています。		
詐欺に注意チラシ	被災地での詐欺被害を防止するためのチラシを、コンビニのネットワークプリンターとも連動して、どこでも、誰でも利用しやすいように提供しました。 「当社と被災家屋の修理契約をすれば、行政から補助金が出る」などと帰命の勝ちを行い、増れた歴をの履快壁の修理契約をすれば、行政から補助金が出る」などと帰の勝ちを行い、場れた歴をの履快壁の修理規略をしたほうがいい」と不を増り、最初な後としたほうがいい」と不を増り、最初な後としたほうがいい」と不を増り、最初な後としたほうがいい」と不を増り、最初な後されずる。 「清陽に来ました」「何か由っていることはありませんか」などと、公的機関やパランティアを接い、婚んだ後で法外な料金を請求する。 「家屋の補修養、当面の生活費などを貸出すので返済保証金を入金して」と 保証金を目で入金させるが、貸出しま存されない、 非教に憲ったら・後しいと思ったら・第人は今して」と 保証金を目で入金させるが、貸出しま存されない、 非教に憲ったら・第人は予しなうたち・後しいと思ったら・消費者ホットライン 帰郷なし 188 (いやり!) 警察 短崎ダイヤル ゼリ 110 悪質商法担当係		
PCやWiFiルータなどの貸与・支援	支援団体を中心に、パソコンやWiFiルータ、スマホやタブレットなどの貸出・支援の他、環境セットアップマニュアルや使用手順書の作成なども行いました。		

令和3年福島県沖地震(2021年)

- パソコン、プリンタ、LTEルーター、モバイルルーターの提供
- FacebookやTwitter で情報発信

貸出機器の状況(最大値)

	計	貸出中
ノートパソコン	88	73
モバイルルータ (タブレット含む)	51	17
プリンター複合機	24	24
携帯電話	33	22

その他活動 (講演等)

2020年度その他の活動状況は以下のようになっております。

• 2020年

- 5/11 078KOBE「正しく恐れる」って難しい インフォデミックを起こさな いために私たちが出来ること
- 5/19 Youtube ラジオ番組 Bunkyoker RADIO ゲスト出演 Stay Home Day38 被災地支援など非営利活動を支えるIT技術について
- 5/23 2020 SDGオンラインフェスタ SDGs専門家ブースで防災の相談対応
- 8/3 APAN50のDisaster Mitigation WG
- 9/15 N2EM浸水域ポリゴン作成ワークショップ
- 9/20 「防災ユース with コロナ」講演
- 9/29 民間事業者によりリアルタイム災害情報提供研究会
- 10/24 千葉県松戸市の市民向けボランティア講座
- 10/30 IBMの若手育成プログラムへの協力
- 12/25 災害コミュニケーションシンポジウム

• 2021年

- 分散コンピューティングプロジェクト<u>Folding@homeにIT DARTチーム</u>として参加 し、246,855,976 points の協力
- 2/11 Clubhouse ITと災害について話す会
- 3/5 災害支援と「共助」の情報技術 三田評論ONLINE
- 3/26 ISGC 2021のDeeper Understanding of Natural Disastersで発表
- インターネット白書2021「防災・減災の対応とインターネット 東日本大震 災から10年を迎えて」
- Software Design 2021年3月号 あなたのスキルは社会に役立つ〜エンジニア だからできる社会貢献〜【111】チャットボットを利用した災害情報調査システムの開発と活用

イベントの開催・協力

- 2020年
 - JVOAD全国フォーラム2021実行委員会 開催協力
 - 9/28 府中市バリアフリーマップ作成で先遣隊システム利用
 - 11/28 岡山県災害救援専門ボランティア研修へ機材提供

2. ご支援

2020年度にご支援いただいた団体(敬称略)

- 株式会社サンキュウ・ウィズ
- IBMユーザー研究会
- 社会福祉法人中央共同募金会

寄付、機材提供のお願い

被災地域が広範囲に及んでいます。継続的に現地での情報支援活動を行うために、 みなさまからのご支援を必要としています。ご協力をよろしくお願いいたします。

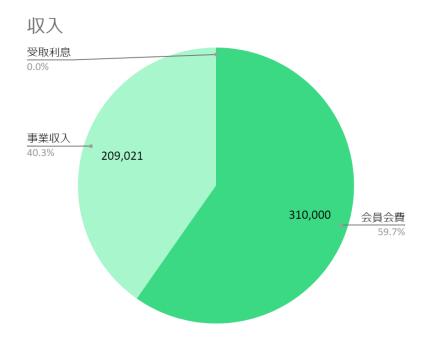
- 寄付金はホームページの「<u>寄付者募集</u>」からお振り込みをお願いいたします。
- PC、プリンター、WiFiルータ、携帯電話等の機器をまとめてご提供いただけ る企業・団体・個人の方は、ホームページの「<u>お問い合わせ</u>」からご連絡い ただけますようお願いいたします。

隊員登録のお願い

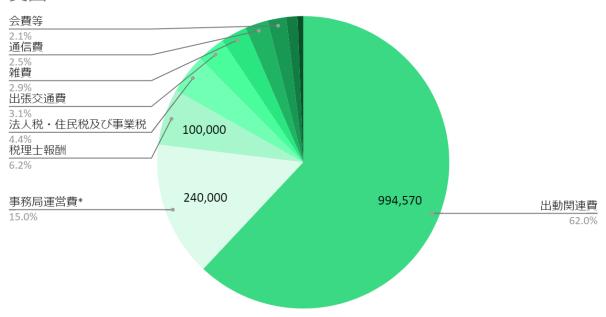
現地での活動以外にも後方支援として、情報入力、情報発信、情報分析、情報機器のセットアップ、梱包作業等の多くの作業があります。これらの作業にご協力いただける方を募集しています。具体的な活動は、隊員用のSlack、Googleグループを利用して共有しています。ご協力いただける方は、是非IT DART隊員へのご登録をお願いします(無料)。隊員登録は、ホームページの「<u>隊員登録</u>」ページからお願いします。

3. 会計報告

2020年度会計報告は以下の通りです。 (単位:円)



支出



*事務局運営費:事務所費、事務局業務

IT DARTは皆様の寄付および会員費で運営されています。 引き続きご支援をどうぞよろしくお願い申し上げます。



IT DART ウェブサイト https://itdart.org/

